

---

# ソウル・ソサエティ ~ もう一つの秘話 ~

ギロりん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ソウル・ソサエティ〜もう一つの秘話〜

### 【Nコード】

N2407B

### 【作者名】

ギロりん

### 【あらすじ】

死神の観月と斗鬼は、人工死神と生活すること…

## プロローグ（前書き）

これはアニメ BLEACH<sup>ブリーチ</sup>のソウル・ソサエティが舞台の話です。  
ですがブリーチを知らない人み楽しめます

## プロローグ

ここは、ソウル・ソサエティ。（死神たちが集う場所）死神の観月（中3）と、斗鬼（中2）は中河原研究所に向かっていた。観月（以下観）

「はあかせえくくく？」観月の声が研究所にひびく。斗鬼（以下斗）  
「博士…いないのかな…」

観月が中へ入っていくと、何かが書かれたメモがあった。観

「えーっと…なにになに？」

その時、斗鬼がわりこんできて、メモを読んだ。斗

「観月と斗鬼へ　せつかくよんだのに、留守にしまつてすまない。そこにあるレバーを引いてくれ。オレは今、現世にいる。中河原博士より！だって。意味分かんね？」（-|-#）」

斗鬼が気付いた頃にはもう、観月がレバーを握っている。観

「ともかくやるわよ！…！！」

観月はレバーを引いた。ガチャッ！！すると、目の前にあったモニターに博士がうつつた。観

「あつ博士！！！」続く。

## プロローグ（後書き）

続きは、まだかいてありませんが、出来たらよんでください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2407b/>

---

ソウル・ソサエティ ~ もう一つの秘話 ~

2010年10月11日03時46分発行